

「第10次京都府職業能力開発計画」（中間案）に係るパブリックコメントの要旨
及びこれに対する府の考え方

<（5人）9件>

項目	意見の要旨	府の考え方
非正規雇用労働者の能力開発について	<p>○今、若年者を中心に非正規雇用労働者割合が増加傾向にあることが問題となっているが、これは、今後の我が国の生産力の低下に繋がりがねないため、この改善に向けた取組の強化をお願いしたい。</p> <p>○産業界と連携した在職者訓練、正社員への移行推進カリキュラムを組めるだけの設備が必要。スタッフは現場退職者等で有能な人材を当てれば良いと思う。人手不足の中で在職者訓練に参加させることができるのか疑問である。送り出し側（企業）にも支援が必要ではないか。</p>	<p>□若年者、女性、中高年齢者、障害者、非正規雇用労働者など、一人ひとりの能力を高め、その能力を存分に発揮できる「全員参加の社会と人材の最適配置」の実現を目指して、職業能力開発施策を進めてまいります。</p> <p>□中でも、非正規雇用労働者については、労働生産性の向上に向け、ポリティクセンター京都等と連携し、その設備等も活用しながら、スキルアップなどの在職者訓練を充実・強化するとともに、企業への支援については、国のキャリア形成促進助成金の活用を促進するなど、企業内外でのキャリアアップの支援を進めます。</p>
女性の能力開発について	<p>○公的職業訓練施設内に託児室、保育所を完備し希望すれば誰でも利用できるようにして欲しい。又、就職が決まってからも継続して利用できるような仕組みがあれば安心して、訓練、仕事に励める。</p> <p>○女性の働き方について多く記載されており、また、今後の訓練機会の拡充や、女性特有のキャリアサイクルに合わせた新たな職業訓練が実施されるとのことで非常に楽しみです。</p>	<p>□若年者、女性、中高年齢者、障害者、非正規雇用労働者など、一人ひとりの能力を高め、その能力を存分に発揮できる「全員参加の社会と人材の最適配置」の実現を目指して、職業能力開発施策を進めてまいります。</p> <p>□中でも、女性の活躍促進のため、結婚・出産等のライフイベントを経験しても、希望する者が継続して働くことができるよう、公的職業訓練において、育児等と両立しやすい短時間の訓練コースの設定や訓練受講の際の託児支援サービスの提供等を推進します。また、子育てしながら働きたい女性やひとり親家庭などの就職については、京都ジョブパーク・マザーズジョブカフェで就業と保育をワンストップで支援します。</p>

<p>女性や障害のある方の能力開発について</p>	<p>○労働力人口が減少している中で、女子力や障害のある方の労働力を積極的に活用する施策を展開し、京都府産業の発展に寄与する環境を整えていただきたい。</p>	<p>□また、障害がある方も、その能力と適性に応じて働くことにより、地域で自立した生活を送ることができる社会の実現に向け、障害特性やニーズに応じた多様な職業能力開発機会を提供します。</p>
<p>北部での人材育成について</p>	<p>○京都府北部では、より顕著な人口減少による就業者人口不足が生じているため、北部地域での人材確保対策をさらに強化して欲しい。(職業訓練のコース設定のみならず、I・Jターンなどの施策等、北京都ジョブパークを含む様々な手段を講じて人材を確保するなど)</p>	<p>□北部地域においては、福知山高等技術専門校やポリテクカレッジ京都等を中心に、大学等と連携し、地域活性化や地域産業を支える人材育成の取組を進めるとともに、北京都ジョブパークとも連携しながら、UIJターン等の人材環流の取組と連携した訓練を実施するなど、人材育成・確保に努めます。</p>
<p>職業訓練広報について</p>	<p>○京都府の職業能力開発施策を広く周知するため、広報を強化して欲しい。(京都ものづくりフェアなどの機会を捉えた広報など)</p>	<p>□職業訓練受講希望者が、自らに適した職業訓練を選択・受講し、早期かつ円滑に就職することを可能とするため、国と府が実施する訓練等の情報を、体系的かつ一体的に、様々な機会を捉え、広報してまいります。</p>
<p>職業訓練を受講しやすい環境の整備について</p>	<p>○せっかくの職業訓練、制度が複雑すぎてよくわかりません。広報のあり方や、専門家に職業訓練について気軽に相談できる機会を増やすなどの検討をしていただき、職業訓練を受講しやすい環境整備をお願いします。</p>	<p>□求職者が、自らに適した職業訓練を容易に選択できるよう、国と府が実施する訓練等の情報を、体系的かつ一体的に広報を実施してまいります。また、様々な訓練機会を確保できるよう工夫するとともに、京都ジョブパーク・スキルアップ相談窓口やハローワーク窓口において、気軽に相談していただき、適切な訓練を受講いただけるようにするなど、環境整備に努めます。</p>
<p>計画全体について</p>	<p>○近年特に、景気の好・不調にあわせて労働・雇用情勢が目まぐるしく変化しています。そのような状況下で、今後5年間の計画を策定するとの内容は困難なものと考えます。 しかしながら、京都府内の労働・雇用現状をしっかりと分析・協議をされ、京都の特色を活かした人材育成を推進するといった決意を持った計画は大いに賛同いたします。</p>	<p>□本計画は、現時点における京都府の雇用情勢を基に5年間の計画を示すこととしていますが、計画途中における情勢の変化等にも対応できるよう工夫をしながら施策展開をしてまいります。</p>

